

には「し」とあるが、意味は不明である。なお、将棋駒の积文と解説は、増川宏一氏による。

## 9 関係文献

富山市教育委員会『富山市内遺跡発掘調査概要Ⅴ―水橋二杉遺跡・願海寺城跡・北代遺跡―』（二〇〇三年）

（古川知明）



(1) 赤外線写真  
(部分)



(1)

小林昌二・戸根与八郎・相沢 央編

### 『新潟県内出土古代文字資料集成』の刊行

本書は、新潟県内から出土した古代文字資料の集成である。二〇〇三年一月末までに確認された資料を対象とし、木簡一四一点、漆紙文書四点、墨書土器四〇六六点、文字瓦六〇点、銅印一点の合計四二七二点を掲載する。遺跡一覧表、文字資料一覧（墨書土器等・木簡・漆紙文書・銅印）、図版、文献一覧表から構成されるが、それぞれ個々の遺跡報告書を参照しやすく配慮されている。一九九五年以来九回にわたって開かれてきた「新潟墨書土器検討会」の成果もふまえて編集されたものであり、新潟県内二二二遺跡から出土した古代文字資料の全貌を一冊にして把握できる資料集である。

A4判二〇七頁（うち図版八〇頁）、二〇〇四年二月刊行  
定価二〇〇〇円

頒布のお問い合わせ・お申し込みは左記へ。

〒九五〇―一二八一 新潟市五十嵐二の町八〇五〇番地  
新潟大学大学院現代社会文化研究科小林昌二研究室気付

新潟墨書土器検討会